

10月2日（水）

わたしがこんなにも親しくそばにいることを、決して当然だ  
とってはならない。

常にわたしがあなたとともにいることに、驚嘆の念を抱きな  
さい。

どんなに情熱的な恋人でも、いつもあなたと一緒にいるわけ  
にはいかない。

あなたの心や精神を熟知している者が、わたしのほかにいる  
だろうか。

わたしはあなたのことを何もかも知っている、あなたの髪  
の毛の数までも……。

あなたは、本当の自分をわたしに知ってもらおうと頑張らな  
くてもいい。

自分のことを理解してくれる人を求めて、生涯をかけたり、  
かなりの金額を費やす者は少なくない。

けれどわたしは、わたしの名前を呼び、心を開いてわたしを  
救い主として受け入れる者には、いつでも惜しみなく応じて  
いる。

